

# 平成 29 年度 第 10 回 理事会議事録

日時：平成 30 年 2 月 27 日（火）19：00～20：50

場所：県士会事務所

出席：（理事）小林伸、高村、磯野、有泉、大西、名取、北山、古屋、井村、三科  
（部長）小林泰、入倉

書記：笹本

## 会員管理情報

慶事 1 件 弔事 1 件 施設数 125

会員数 860 名（施設 800 名 自宅 60 名）

### I. 審議事項（全 6 題）

#### 1. 田中まさし連盟会長の来県の日程について：小林会長

連盟の政治パーティーが 2 月 23 日にあった。協会の推薦で田中先生（現連盟会長）が来年夏の参議院選に出馬する報告があった。連盟の新会長は半田協会会長、新会長代行は和歌山県の中前先生となった。

田中先生は、全国各地へ挨拶回りをしており、山梨県は 5 月 15 日（火）の総会前に設定する。

なお、リハビリテーションを考える会（議員連盟）は、鈴木俊一国務大臣（東京オリ・パラリンピック競技大会担当）が新会長となる。

#### 2. 委員会の名称変更について：災害対策委員会（代理有泉局長）

現在の名称は、県士会では「災害対策委員会」、三士会の団体協議会では「災害対策支援委員会」となっている。

これまで、県士会単独で災害対策委員会が動くことは少なかったが、委員が JIMTEF の研修（初級・中級）を受けたので士会主催の研修会を来年度以降に検討している。合わせて、三士会の委員会や JRAT 関連については、当委員会から参加しているため名称を統一したい。

→来年度から県士会の名称を「災害対策支援委員会」と改める。

\*なお山梨 JRAT は、研修担当と広報担当の委員会を立ち上げていく予定。

#### 3. スポーツ PT 勉強会の後援について、JPTA ニュースへの対応について：社会局スポーツ PT 部（社会局古屋局長）

①第 66 回スポーツ理学療法勉強会を 3 月 5 日に山梨大学医学部の大講堂で開催する。後援は山梨大学と VF 甲府となる。

②協会から JPTA ニュースの依頼があった。スポーツ理学療法部の森田先生（デイサービスいろは）を推薦する。

③第 67 回スポーツ理学療法勉強会を 3 月 5 日以降に開催予定。

#### 4. ケアマネージャーへのアンケート結果について：企画局調査研究部井村局長

アンケート結果を取りまとめた。今年度中にケアマネ協会へ礼状と結果を渡す。

今後として、結果を項目別のグループに分ける。匿

名性が保てるなら、HP やサポーターズ（H30 年 7 月～8 月）に載せる。

協議会の理事会に 1 部ずつ持って行くことも検討する。

### II. 報告事項（全 16 題）

#### 1. 各種委員会報告

##### ・地域支援事業等推進委員会（三科局長）

都道府県会における住民主体型の総合事業獲得・運営習得研修会が平成 30 年 1 月 27 日、28 日に開催された。平成 29 年 3 月に行われたシルリハリハビリ体操（以下、シルリハ）に関する研修会の延長線上の研修であった。

全国の県士会から推薦された方々が集まりディスカッションをしたが、「シルリハ」と「いきいき百歳体操（以下、百歳体操）」と「独自に行っている体操」に分かれていた。

県内一部の地域で「シルリハ」が行えるかは不明。

来年度、今回の研修の伝達講習を開催するかは検討する。

##### ・訪問理学療法委員会（小林会長）

来年度も実務者研修を開催する予定で、前期（若手を中心）・後期（携わっている方を中心）に分けて実施を検討している。訪問リハビリ振興財団からテーマが届くので、それに併せて行っていく。

##### ・災害対策委員会（代理有泉局長）

山梨 JRAT 運営委員会が 2 月 26 日に開催され、県と締結をした。関東では初めてで全国 3 番目の事例となった。今後は、研修委員会と広報委員会を立ち上げて活動をする。県士会から 2～3 名を委員会へ選出する。

H30 年 3 月 16 日（金）に敷島総合文化会館で三士会の研修会が行われる。

##### ・特別支援教育委員会（有泉局長）

第 2 回研修会が 2 月 10 日に開催されて 45 名（うち PT3 名）の参加があった。

##### ・山梨リハ・ケアを考える会（磯野副会長）

報告なし。

##### ・選挙管理委員会（有泉局長）

報告なし。

##### ・表彰委員会（有泉局長）

報告なし。

#### 2. 学術局学術研修部（名取局長）

①第 4 回学術研修会を 2 月 18 日にアピオ甲府で開催し 110 名の参加があった。

#### 3. 企画局公開講座部（井村局長）

①公開講座が 2 月 25 日に開催された。約 160 名が参加した。内容も認知症とロコモチェックで好評だった。広報に費用が使え、4 万部の折り込みで周知できたのが大きかったかもしれない。アンケート結果を分析して、今後に生かしていく。HP に写真付きで報告を検討する。

#### 4. 社会局スポーツ PT 部（古屋局長）

①オリパラに向けて、協会からスポーツに関して牽引、推進していく人材の推薦をお願いしたいという依頼があった。協会と連絡を取り、運営協力していく担当を小尾先生（山梨大学付属病院）、研修

会等の準備をする担当を小林先生(山梨大学付属病院)、加納先生(石和温泉病院)、庄司先生(石和南整形外科クリニック)、大森先生(市立甲府病院)、森田先生(デイサービスいろは)、佐藤先生(石和温泉病院)、平井先生(デイサービスいろは)の7名推薦をする。

#### 5. 広報局広報部 (大西局長)

①チラシ 1500 部、グッズ 500~700 を作成した。研修会等で使用したい場合は、連絡をして欲しい。

#### 6. 事務管理局 (有泉局長)

①平成 29 年度の会計について

3 月 31 日締めとなる。次回 3 月の理事会 (3 月 27 日) 時に 2 月分と 3 月分を提出する

②事務員の募集について

応募問い合わせが計 3 件あり、対応中である。

③年度末監査の日程及び資料作成について

4 月 24 日の理事会に合わせて年度末監査を行う。「事業報告」「事業計画」「予算案」を 4 月 13 日までに提出する。事務管理局から各理事へ「昨年度の総会資料」と「今年度の中間監査」の資料を送る。

④会費未納者について

前回の報告時よりは少なくなった。

⑤後援依頼について

交通事故被害者支援と周術期疼痛管理研究フォーラム(県立看護大学で開催)の 2 件の後援をする。

### III その他

・小林会長より

①関ブロの士会長会議の報告

・山梨で行われたテニス大会の際に関ブロへ協力者の依頼をした件について、好評だったと話が合った。今後は同様な事例の際、各士会で協力しあってスキルアップを図っていく。

・女性部について、正式に立ち上がることになった。名称は検討中。

・関ブロが 9 月 29 日 30 日に栃木県宇都宮市で開催されるが、その査読の依頼が来た。認定・専門理学療法士が望ましいが、県士会会長の推薦者も査読は可能。2019 年度は 10 月 26 日 27 日(予定)に群馬県で開催される。

・学術研修会が 5 月 25 日 26 日に行われる。専門形式になるので、予定の立てにくさがある。協会主催の研修会は把握しているが、各ブロック主催の研修会は協会も把握出来ていない。今後は改善予定。

・5 年間で創立の区切りとなる士会が多く、山梨県も後 3 年 (2021 年) で 50 周年となる。

・今までの学会抄録を J-STAGE に残していく。

・高村副会長より

①先週金曜日に宮川典子氏の政治パーティーに参加した。約 900 人の参加があった。

・磯野副会長より

①地域支援事業等推進委員会で 3 月 10 日に推進リーダー研修を開催する。15 名の申し込みがあった。

②リハビリテーション専門職団体協議会の地域支援事業等推進委員会で 3 月 6 日に大木記念ホールで研修会を開催する。

③協会が各県士会の理事を育成する研修会 (第 1 回) に磯野副会長と有泉事務局長が 2 月 24 日 25 日に参加した。協会の考えは、ブロックの下に支部を作って活動していく方向で、東京・広島・滋賀等が行っていた。また、管理者ネットワークで各施設の代表者が繋がることで士会が強化されることを期待していた。各士会の動きとしては、専門領域の研修会が活発化しており、士会の中で人材育成して講師を行っていた。収益事業として岩手県士会は過去に訪問看護ステーションを行っていたが、デイサービスを運営し始めた。

### IV. 次回の理事会日程について

日時 平成 30 年 3 月 27 日 (火) 19:00~

場所 県士会事務所

連絡 3 月 23 日 (金) までに審議事項および資料を事務管理局 (有泉理事) へ提出する。  
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。

### V. 会長より

・公開講座が非常に盛況だった。

・年度末のメで年度末監査、そして総会となる慌ただしい時期である。御協力お願いします。